

経営比較分析表（令和2年度決算）

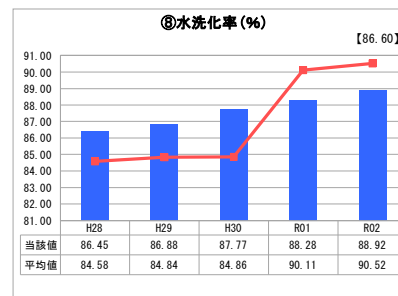
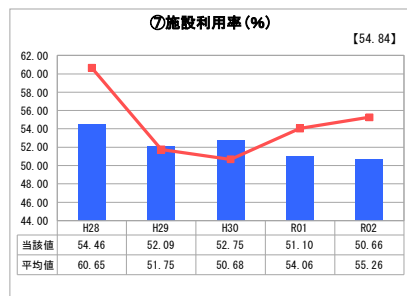
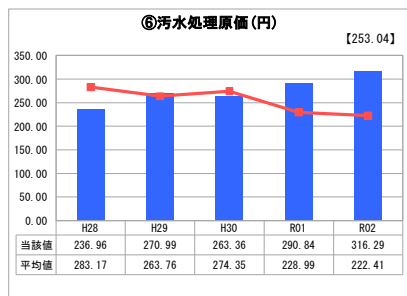
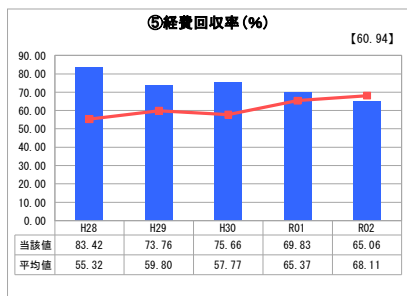
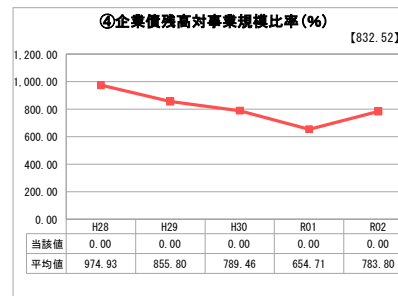
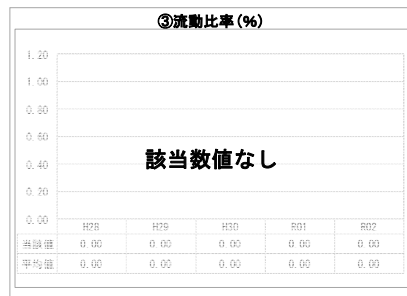
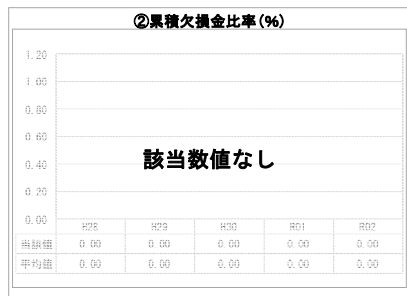
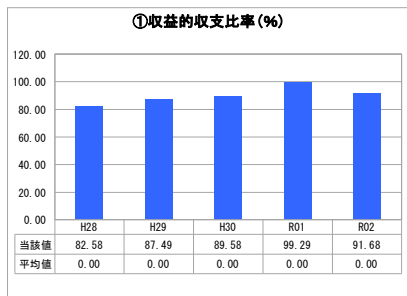
大分県 豊後大野市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	8.29	99.99	3,680

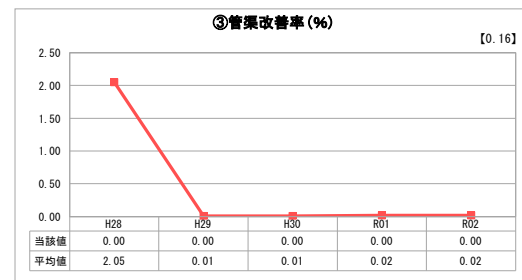
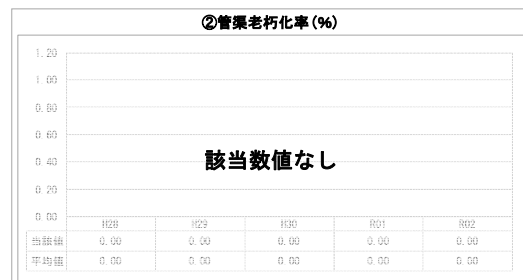
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
34,692	603.14	57.52
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,861	1.51	1,894.70

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 『収益的収支比率』・・・総費用に地方債償還金を加えた費用を総収益でどの程度賄われているかを表す指標。地方債償還額は減少しているが、その他費用の増大により比率は低下している。
- 『企業債残高対事業規模比率』・・・使用料収入に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標。地方債償還に一般会計繰入金を充当していることから0%となっています。
- 『経費回収率』・・・使用料で回収すべき経費を、どの程度使用料で賄えているかを表した指標。使用料収入はほぼ横ばいだが、委託費等污水处理経費が増加しているため回収率が低下している。
- 『汚水処理原価』・・・有収水量1m³あたりについて、污水处理に係るコストを表した指標。人口減少等により年間有収水量は減少しているが、委託費等污水处理経費が増加しているため汚水処理原価が上昇している。
- 『施設利用率』・・・処理能力に対する污水处理量の割合で、施設の利用状況を判断する指標。全国・類似団体平均を下回っている。利用率向上に努める必要があります。
- 『水洗化率』・・・実際に水洗便所を設置して汚水を処理している人口の割合を表した指標。全国平均より高く、徐々に改善しているが、類似団体平均より低い。更なる接続率の向上対策に努める必要があります。

2. 老朽化の状況について

- 『管渠改善率』・・・当該年度に更新した管路延長の割合を表す指標。供用開始後30年を超える施設もあるが、今のところ大きな事故もなく運用できている。今後も定期的な調査を行いながら、事故防止に努め適切な維持管理をおこなっていきます。

全体総括

供給開始から30年を超える施設もあり老朽化は徐々に進んでいるものの、今のところ大きな事故なく運用できている。
経営については水洗化率は徐々に上昇しているものの、処理人口が減少していることなどから、経費回収率、汚水処理原価等徐々に悪化しており、経営、効率性について徐々に悪化してきている。
今後も定期的な点検を行い施設の長寿命化を図りながら、経営の効率化に努める必要があります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。